

NEWS RELEASE

令和3年2月12日

報道関係者各位

「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」 有機農業・環境保全型農業部門 農林水産大臣賞の受賞について

たじま農業協同組合（JA たじま）は、この度、農林水産省主催の「令和2年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール」有機農業・環境保全型農業部門において最高位の農林水産大臣賞を受賞しましたのでお知らせいたします。

表彰対象は、有機農業をはじめとする環境保全型農業の取り組みを通じて、環境負荷低減や生物多様性など環境の保全等に顕著な成果を上げている農業者、農業団体及び教育機関等となっています。

JA たじまの取り組み内容は下記のとおりです。

記

【概要】

- ・団体名 たじま農業協同組合
- ・所在地 兵庫県豊岡市
- ・面積（環境保全型農業）1,343ha
- ・構成員（環境保全型農業）1,573人
- ・栽培品目 水稲

【取り組み】

・地域一体となった取組の推進

コウノトリの野生復帰への取組と合わせ、生産者、JA、行政が一体となり、実需者とも連携して「コウノトリ育む農法」の普及を推進。同農法の生産部会に294名が所属し、農薬を使用しないタイプ、農薬使用を減らすタイプ合わせて、470haで同農法を実施(2020年3月時点)。その結果、2005年に初放鳥されたコウノトリは2020年には200羽を超えるまでに生息を拡大。

・JAが多様な取組を主導

2018年、たじま農協が事務局となり、GLOBAL G.A.P.と有機JASの団体認証を取得。

輸出促進にも取り組み、理念や取組内容が評価され「コウノトリ育むお米」は6ヶ国に輸出。シンガポールやUAEで食農特別授業を実施するなど、海外の販路拡大にも力を入れている。

・持続的な農業生産の推進

毎年土壌診断を行い、適正施肥を実施。堆肥は資源循環のために地元産の牛ふんと鶏ふんの活用を推進。通常の稲作にはない冬期湛水等の水管理により、水田に生息する生き物を保全。

・地域内外・他業種との連携

「コウノトリ育むお米」を豊岡市の学校給食に継続的に提供。また、販売収益の一部をコウノトリの野生復帰の取組や環境保全活動に参加し貢献できる仕組みを構築。

実需者との連携により、「ごはんの日」のイベント、商品展示会、「産地へ行こう」交流会等、都市部の消費者の理解促進にも努力。

この件に関しますお問い合わせは、JAたじま営農生産部米穀課（TEL0796-24-2205）担当：塩見（しおみ）までお願いいたします。

ニュースリリースの発信元

JA たじま 生活福祉部地域ふれあい課 長田
〒668-0051 兵庫県豊岡市九日市上町550-1
TEL 0796-24-6602 FAX 0796-22-1138